



滝沢市交流拠点複合施設の管理運営 におけるサウンディング型市場調査 実施結果（公表）

滝沢市交流拠点複合施設の管理運営に係る活用方法やアイデアなどについて企画提案を募集した結果、平成 26 年 12 月 18 日（木）の説明会には、11 事業者等の方に参加していただきました。また、企画提案書については、4 事業者・グループの方々から提案をいただき、平成 27 年 2 月 17 日（火）～20 日（金）にかけてサウンディング（対話）を行いましたので、実施結果について概要を公表いたします。

1. サウンディング対象部分

図書館を除く、コミュニティ部分と産業雇用創造センター部分（テナント部分、テナント以外の部分）について提案がありました。

2. 全体のコンセプト及び管理運営方法のアイデア

図書館を除くすべての部分を管理運営していくことで、総合的なマネジメントの展開、ゾーン毎の調整や全館イベントの開催など連携・調整を図っていくため、一体的な管理運営がふさわしいと提案がありました。

さらには、施設一体管理による相乗効果やマネジメント管理、維持管理方法などのアイデアも提案されました。

3. 事業展開内容や方法のアイデア

各社ともこれまでの経験と実績を生かした、本施設の特徴を踏まえたコンセプト設定・提案を踏まえ、各種事業の展開を図っていくといった、独自のノウハウや特徴的なものが提案されました。

4. 指定管理委託料とテナント範囲

管理運営経費については、同規模類似施設からの試算により、概算額が提案されました。

物販スペース、レストランスペースについては、事前提示している範囲では狭いことが想定されるため、その中間にある多目的スペースも活用していきたいとの提案がありました。

貸館に伴う利用料等の収入については、利用料金制度により指定管理者のインセンティブの高まり、サービスの質や量が向上、利用者の増加につなげていきたいとの提案がありました。

5. 市内事業者等との活用アイデア

地元雇用を基本とし、また、地元企業の参入により地域連携を図っていくとともに、観光協会等や地元農家とも共同、タイアップ、連携などを行いながら、観光物販促進、新たな商品開発、食の提供等、各社とも特徴的なアイデアが提案されました。

その他、各社が持っているネットワークを通じた地域間連携による相互の相乗効果を図るといった提案もありました。

6. その他

サウンディング時点においては、3年間で指定管理期間の条件としていましたが、対話の結果、3年間では短すぎて結果を十分に出し切れずに終わってしまうことから、5年間にしてほしいとの話がありました。

ネーミングライツ導入の可能性について対話したところ、知名度や認知度、その他更新における書き換え費用などの負担も生じるといった点から、逆に市民に親しまれる愛称募集の提案がありました。

最後に・・・

今回のサウンディング型市場調査により、市場のニーズや考え方、さらには、市だけでは考えもつかない数々の本複合施設に込められた活用アイデアなど、今後の施設管理運営に関する貴重なサウンディングとなりました。

サウンディング型市場調査に参加していただきました各事業者の皆さまにおかれましては、限りある時間の中で各社独自のノウハウや経験をふんだんに盛り込んだ企画提案をしていただき、大変ありがとうございました。

今後は、今回の調査結果や市としての考え方を整理・融合させながら、平成27年度以降に管理運営者を決めていきたいと思えます。

平成27年3月17日

滝沢市長 柳村典秀